

2017年4月4日

各 位

大阪信用金庫
理事長 樋野 征治

定例調査：第171回 景気動向調査（1～3月期）

☆建設業、不動産業が好調・・・売上D I 建設+8.6% 不動産+8.8%

☆設備投資は引き続き高水準・・・「実施・予定」17.9%

☆先行きへの不安感は和らぐ・・・「売上受注の停滞・減少」49.1%

☆賃上げ実施予定2割を維持・・・賃上げ「実施予定」23.6%

●建設業、不動産業が好調 売上D I 建設+8.6% 不動産+8.8%

総合では、売上D I が△3.5(前回比+0.2ポイント)、収益D I が△5.3(前回比△0.7ポイント)となり、売上D I ・収益D I ともに横ばいで推移しました。

業種別では、好調な住宅需要に支えられた建設業と不動産業が売上D I、収益D I ともにプラスに転じました。インバウンド効果もあり、飲食業も大きく改善しています。

4-6月期の見通しは、総合では売上D I が4.5ポイント、収益D I が3.4ポイントともに上昇と予想しており、明るい見通しとなっています。

●設備投資は引き続き高水準 「実施・予定」17.9%

設備投資は、総合では「実施中」が8.2%(前回比△0.3ポイント)、「予定あり」が9.7%(前回比△0.3ポイント)となりました。「実施中」と「予定あり」の合計は17.9%で、依然として設備投資動向は高水準で推移しています。

業種別では、製造業は「予定あり」12.6%と前回調査より3.6ポイント上昇しました。業況が改善していることから、再び設備投資を考える企業が増えたものと思われます。

●先行きへの不安感は和らぐ 「売上受注の停滞・減少」49.1%

経営上の問題点は、総合では「売上受注の停滞・減少」が49.1%(前回比△4.1ポイント)と2015年9月期から1年6カ月ぶりに50%を割りました。

「仕入単価の上昇」が39.1%(前回比+2.9ポイント)と2期連続で上昇しました。特に、製造業が前回比9.7ポイント、卸売業が6.8ポイント上昇しました。鉄鋼や石油関連の資材価格が上昇していることが背景にあるものと思われます。

●賃上げ実施予定2割を維持 賃上げ「実施予定」23.6%

賃上げの実施予定について、「実施予定」が23.6%(昨年比△0.5ポイント)となりました。昨年24.1%、一昨年23.1%に続き、「実施予定」は2割を維持しています。

従業員数別では、従業員が多い企業ほど「実施予定」の割合が高い傾向にあります。特に、従業員数50人超の企業では、「実施予定」が昨年よりは低下したものの半数近くあります。人手不足感の高まりを反映し、労働力確保のために賃上げを考える企業が依然として多いものと思われます。

調査時点：2017年3月上旬

対象期間：2017年1～3月(実績) 2017年4～6月期(見通し)

対象企業：当金庫お取引先1,783社(大阪府内、尼崎市)

回答企業数：1,455社(回答率81.6%)

調査方法：調査票郵送および聞き取り調査

本調査に関するお問い合わせは下記までお願いします

株式会社だいしん総合研究所(担当：福井)

TEL:(06)6211-2921 FAX:(06)6211-2930

E-mail:souken@osaka-shinkin.co.jp URL:http://www.osaka-shinkin.co.jp

この街のホームドクター



大阪信用金庫